

# これからの道路空間を考える

## ～新しい日常における歩行者中心の道路空間～

道路あるいは道路交通に求められる機能や性能は、その時々、社会的背景や要請により絶えず変化しますが、これらに配慮した道路空間の(再)配分が道路設計あるいは道路交通管理の場面において工夫されながら実施されてきています。

近年、まちなかの賑わいを創出し都市の魅力向上が期待されることから、「快適な歩行者空間の確保」へのニーズが高まっており、特にコロナ禍がこの動きを加速させていることは論を俟ちません。また、歩行者と自転車にとどまらず、立ち乗り電動スクーター等、新たなモビリティを含めた多様な交通主体の安全性、快適性を向上させるための交通ルールの検討も進められています。

そこで、今回の交通工学講習会では、「これからの道路空間を考える～新しい日常における歩行者中心の道路空間～」をテーマに、各専門家をお招きして、最新の動向の紹介や課題について報告し、さらにポストコロナ(ニューノーマル)時代の道路の空間づくり、交通運用の在り方について議論を深めてまいります。会員の方々をはじめ、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■主催：一般社団法人 交通工学研究会 <http://www.jste.or.jp/> ■後援：警察庁・国土交通省

■開催日：2021年7月7日(水)

■会場：科学技術館サイエンスホール(オンライン同時配信)

※新型コロナウイルス感染症対策として、開催時の状況に応じたキャパシティでサイエンスホールの入場人数を設定させていただきます。また今後の状況により全面オンラインでの開催になる可能性もございます。予めご了承ください。

■参加費：交通工学研究会 正会員 8,250円 特別会員 8,800円 学生会員 3,850円 非会員 9,900円(消費税込)

■プログラム (講習タイトル及び講師は若干の変更がある場合もございますのでご了承ください)

<p><b>1. (基調講演)新時代の道路空間と人・モビリティを巡る「流行」と「不易」</b></p> <p>人中心の実現を目指し、道路空間とりわけ歩行空間に大きな変革が行われつつあります。また、数年前には想像もできなかった新たなモビリティがわが国にも登場してきました。これらを踏まえ、われわれには、変えるべきものと変えられないものの両方が存在します。そのための原則や計画論について考えます。</p>	久保田 尚 (埼玉大学)	10:30～ 11:20
<p><b>2. 歩行者利便増進道路制度について(仮)</b></p> <p>「道路空間を街の活性化に活用したい」「歩道にカフェやベンチを置いてゆっくり滞在できる空間にしたい」などのニーズに対応した道路空間構築の制度として、「歩行者利便増進道路(通称:ほこみち)」が創設され運用が開始されました。コロナ占用特例との関係にも触れつつ、制度の紹介と解説を行います。</p>	山本 浩之 (国土交通省 道路局)	11:20～ 11:50
<p><b>3. 「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりについて(仮)</b></p> <p>都市再生特別措置法改正(令和2年6月)では、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの創出のため、まちづくり計画(「都市再生整備計画」)に「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりに取り組む区域(「滞在快適性等向上区域」)を設定し、官民一体となって交流・滞在空間を創出する取組を集中的に推進することとしています。法律・予算・税制のパッケージによる支援策について紹介をします。</p>	坂本 光英 (国土交通省 都市局)	11:50～ 12:20
<b>昼休み</b>		
<p><b>4. 多様な交通主体の交通ルール等の在り方について(仮)</b></p> <p>警察庁では、新たなモビリティ(電動キックボード、自動配送ロボット等)に係る安全性や利便性について分析を行うとともに、これらを含む多様な交通主体による安全快適な交通を実現するための新しい交通ルール等の在り方について、幅広く検討を行ってきました。この度、取りまとめられた(予定)検討結果を概説するとともに、新しい道路空間における交通ルール等の在り方について紹介します。</p>	井澤 雄介 (警察庁 交通局 交通企画課)	13:30～ 14:00
<p><b>5. 神戸市の道路空間活用の取組みについて(仮)</b></p> <p>神戸市が推進する、「人が主役のまち・居心地の良いまち」を実現するために取組んでいる「三宮クロススクエア」やバスターミナルなどの都心再整備事業や、「三宮中央通りのほこみち指定」など、地元商店街や民間事業者と協働で取組んできた道路空間活用事例について紹介いたします。</p>	牛若 健吾 (神戸市 建設局)	14:00～ 14:30
<p><b>6. 松山市のウォークアブルなまちづくりについて</b></p> <p>松山市はウォークアブルなまちづくりを推進しており、「居心地がよく歩きたくなるまち」を形成するため取り組んだ道後温泉本館周辺やロープウェー通り、花園町通りの、道路空間の再構築の事例を紹介します。</p>	石井 朋紀 (松山市 都市整備部)	14:30～ 15:00
<b>休憩</b>		
<p><b>7. パネルディスカッション</b></p> <p>参加者からの質問をもとに討議</p>	コーディネーター:久保田 尚 パネリスト:講演登壇者の皆さまを予定	15:20～ 17:00

### 参加登録について

- ・科学技術館サイエンスホールへの会場参加申込は先着順です。定員を超えた場合はオンライン配信でのご参加をお願いします。
- ・本講習会に参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。
- ・申込みフォームから参加者情報の送信、参加費納入の両方の手続きが済むと、参加登録が完了となります。
- ・申込・参加費納入期限：2021年6月25日(金)
- ・参加登録が完了した方には、参加方法や資料入手方法等の案内をメールでお知らせします(開催日の1週間程前を予定)。
- ・会場で手元資料の配布は行いませんので、ご自身でプリントアウトやモバイル機器等に予め保存してお持ちください。
- ・ご入金後のキャンセルはできませんので予めご了承ください。

◆参加申込み・参加費納入に関するお問合せ：一般社団法人交通工学研究会 受付事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル(株)毎日学術フォーラム内

TEL: 03-6267-4550 FAX:03-6267-4555 MAIL: maf-jste@mynavi.jp



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-23 錦町MKビル5階

※開催に関する緊急の連絡は <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。